



FinEx[®] - 万能な機能性フィラー アジア地区における霞石閃長岩

1996年（平成8年）の設立以来、株式会社ファイントン・インダストリアルミネラルスは、ガラスやセラミック用途を中心に、鉱物系フィラーの販売をしております。香港、中国、ベトナムに鉱山や工場、販売拠点を持っています。

かすみいしせんちょうがん

霞石閃長岩（かすみいしせんちょうがん）（英：nepheline syenite）とは、霞石とアルカリ長石から構成される天然鉱物です。霞石閃長岩の特性を下記にまとめます。

- 耐候性の改善
- 耐磨耗性、耐着色性、耐衝撃性、耐チョーキング性の改善
- 高白色度 (> 92)
- 高い耐候性（耐紫外線性）により、塗料の黄変を防止
- 高充填しても塗料の色に影響与えず



- 低屈折率のため、透明性への影響が小さい
- 水系でも溶剤系でも分散性良好。粘度の上昇が小さいため、高充填可能
- pHに対する安定性が高く、不活性
- 低いビヒクル要求量と良好な耐艶消し性
- 吸油量が低いため、高充填でも低粘度



石英を含まず、長石の代替品として最適

霞石閃長岩は遊離性シリカを全く含有していないため、長石の代替材料として最適です。霞石閃長岩と長石を比較すると、長石は結晶性シリカを含んでおり、一方、霞石閃長岩のシリカは霞石の一部として固定されており、ケイ酸塩として存在しています。長石に含まれる結晶性シリカ（または遊離シリカとも呼ばれる）は、それを吸入する事により、珪肺症と言われる肺の病気をもたらすとされています。昨今、作業員やユーザーなど、人体に対する安全性に関して再度原料の見直しが図られており、多くの塗料メーカーや粉体塗料メーカーが、長石の代替材料として、より安全な霞石閃長岩の採用が進んでおります。また、セラミック用途では、霞石閃長岩のアルカリ成分が高いため、長石よりも高性能な融剤として使用されています。長石の代わりに霞石閃長岩を使用する事で、より融点を下げる効果があるため、加工性はもちろんの事、エネルギーコストの削減にも効果があります。また、霞石閃長岩は製品の表面を滑らかにする効果もあります。また、霞石閃長岩は酸化アルミニウムの成分が高く、これは耐久性、耐

アルカリ性、耐酸性、耐熱衝撃性、耐摩耗性、耐チョーキング性などに寄与しています。

リーズナブルな価格で高機能な製品を供給

世界的に、霞石閃長岩の採れる地域が限られており、更にはサプライヤーも少ない事から、長年の間、霞石閃長岩は高級品という位置付けで、特にアジア太平洋地域や中東では、費用対効果が高くありませんでした。弊社は、霞石閃長岩を合理的な価格で販売する事で、様々な塗料や粉体塗料の性能改善に寄与できるよう、拡販活動を続けております。弊社は FinEx[®] と FinEx[®] NF という二種類のグレードを生産しており、更にはこの二つの基本グレードの中にも、様々な用途に合うよう、粒度分布 (PSD) の異なる製品群を用意しております。弊社の製品は、大手塗料メーカーの厳しい要求を満たし、2009年から世界的に販売を行っております。さらに弊社は、製品の性能や安定供給性はもちろんの事、各お客様のニーズに合わせたカスタマイズ品の製造など、あらゆるサポートを行っております。

